Q&A 一般質問 市政のそこを問いたい！



加藤（かとう） 一生（かずお） 議員（真風）

最新の治水行政と今後の展開は

答弁…持続可能な治水対策を推進していく

▲録画配信
（９月１日一般質問）

問　長年にわたり、市の下水道行政は豪雨への事前対応を行ってきた。一方、ここ数年、同時多発的に台風が発生し、線状降水帯も頻繁に発生するようになっている。最新の治水状況はどうなっているか。また、今後は、どう展開していくのか。

答　内水氾濫について、浸水が想定される区域や浸水する深さを図示した内水浸水想定区域図の作成を進めるなど、治水対応に取り組んでいる。将来的な水害リスクの増大に備えるため、国・県・流域内の自治体と連携、協力を図り持続可能な治水対策を推進していく。


西部産業団地内の調整池

豪雨 千葉豪雨発生時の市の対応は

答弁…大雨に備え適切な体制を構築していく

問　①　令和８年８月千葉豪雨による当市への影響を想定し、市はどのような事前対処、行動及び事後活動をとったのか。

②　①は、どういう体制で対応したのか。そして、今後は、市内における豪雨に対し、どのような体制で対応していくのか。

答　①大雨に備え事前に道路や排水路の管理を行うとともに、降雨状況に合わせた待機体制等を敷いた。翌日は被害調査を実施した。②事業担当課を中心に対応した。今後、警察、消防や協定締結者等と連携し職員の配備体制などを整え、持続可能な体制の構築を図る。



中山（なかやま） 廣子（ひろこ） 議員（公明党）

放課後等デイサービスと学校との連携を

答弁…情報共有・連携の充実に努める

▲録画配信
（９月２日一般質問）

問　学校と放課後等デイサービスが、子どもの状況や支援について十分に情報共有し、同じ方向を向いて支援することは重要である。市として連携の基本的な考え方やルールを示し、連携を進めるべきと考えるがいかがか。

答　学校と放課後等デイサービスは、連絡帳の活用やケース会議等を通じて連携を図っている。一方で、学校・事業所ごとに連携方法の違いや情報共有の課題もあることから、教育委員会と福祉部門が連携し、学校や事業所のニーズを把握しながら連携の充実に努める。



検診 乳がんの早期発見に向けた検診の充実を

答弁…指針に応じたがん検診で早期発見を図る

問　乳がんの早期発見につなげるため、高濃度乳房を含む乳房構成※を受診者に通知し、その意味や留意点を分かりやすく伝えてはいかがか。また、希望者が超音波検査を受けられる検診体制を整えてはいかがか。

答　高濃度乳房に関する正しい知識の周知に努めていく。また、市の乳がん検診は国の指針に基づいて実施しており、現在、超音波検査は含んでいない。検査方法については医療機関の検査体制を整える必要もあることから、今後の国の動向に基づき実施していく。

※　乳房構成…乳房内の乳腺と脂肪の割合を示すもので、乳腺の密度によって4つに分類される。